

2026 年度 第 2 回運営推進会議議事録

日時：2026 年 7 月 31 日（金）10：30～11：30

場所：グループホーム出雲

参加者：福祉委員（ 様）

大社高齢者あんしん支援センター（ 様）

出雲市役所高齢者福祉課（ 様）

サンキ・ウエルビー 小規模多機能センター、看護多機能
グループホーム出雲スタッフ 3 名

1. グループホーム・小規模多機能センター・看護小規模多機能センター状況報告

☆グループホーム 1F： 入所者9名（男性1名・女性8名）

要介護1	… 2名	要介護2	… 3名	要介護3	… 3名
要介護4	… 0名	要介護5	… 1名	(平均介護度 2.44)	

☆グループホーム 2F： 入所者9名（男性0名・女性9名）

要介護1	… 0名	要介護2	… 0名	要介護3	… 6名
要介護4	… 1名	要介護5	… 2名	(平均介護度 3.55)	

☆小規模 登録者 26 名（男性 9 名・女性 17 名）

要介護1	… 2名	要介護2	… 12名	要介護3	… 7名
要介護4	… 5名	要介護5	… 0名	申請中	… 0名 (平均介護度 2.57)

☆看護小規模登録者 16 名（男性 3 名・女性 13 名）

要介護1	… 5名	要介護2	… 7名	要介護3	… 1名
要介護4	… 2名	要介護5	… 0名	申請中	… 1名 (平均介護度 1.87)

〈グループホーム状況報告〉

1Fの状況について、2Fに比べてやや自立しておられる方が多い。5/29 男性利用者が日中にろれつが回らなくなりフラフラされていたため、直ぐに病院受診。結果軽度の脳梗塞であった。現在リハビリ中だが退院の目途はまだ立っていない。後遺症は残っていないとのこと。8月に病院へカンファレンスに行く予定となっている。

2Fについて、以前男性は1名だったが5月に入院されそのまま症状悪化により亡くなられた。もう1名、すい臓炎のため入院となりそのまま退去となった。8/7に新しい方が入居予定。

【グループホーム状況報告についてご意見、ご質問等】

- ・ 待機者の方は何人くらいおられますか？（高齢者福祉課さま）
（GH）10名いるが声をかけると「まだ今はいいです」と言われることがほとんどです。
今回入居予定の方は、タイミングが非常に良かったと思います。

〈小規模出雲状況報告〉

- ・ 現在26名。3名の枠が空いている。6月までは29名だったが、2名が他施設へ入居となりもう1名は養護老人ホームへ入居された。介護度3以上になると他施設への入居申し込みをされる方もおられる。特に独居の方であれば、早急な動きが必要になることもある。
養護老人ホームに入居された方については、小規模出雲を利用される前は別の小規模を利用されていたが閉設のため小規模出雲にかわられた。独居だったが、全く生活が成り立っておらず、金銭管理もできない中、もう限界ではないだろうか！と見極め、行政の方にも協力をしていただき、他施設に入居することができた。小規模出雲にとって、利用終了になられることは非常に痛手ではあるがこの方の今後の人生を考えた時この決断が必要であった。

【小規模出雲状況報告についてご意見、ご質問等】

- ・ やはり小規模では他施設への入居、入所の動きは多くありますか？（あんしん支援センター）
（SSM出雲）老老介護や独居の方の場合は、入所に向けて動かれるケースが多いです。状態によってはお泊りや訪問の回数を増やししながら、在宅での生活を継続されている方もおられます。
- ・ 例えば…独居や老老介護の方について、この暑さの中エアコン使用はどうされていますか？
（あんしん支援センター）
（SSM出雲）ご自宅の事情によっては、エアコンを消されていることもあります。迎えにいくと既に熱中症の症状が出ておられる利用者さまもおられます。日中にご自宅でお一人の方の場合エアコンのタイマーをかけて調整しています。

〈看護小規模出雲状況報告〉

現在16名のご利用中である。疾患は様々で対応の難しさもあるが、個別での関わりを重視しながら、できることを少しずつやって頂いている。
1名、7月末に寿生園に入所され、8/3に医大より1名退院後に利用予定。
現在、連泊者1名である。

【看護小規模出雲状況報告についてご意見、ご質問等】

- ・ 看多機は、小規模と同じ場所にありますか？平均年齢はどのくらいですか？（福祉委員さま）
（看多機）小規模の隣が看護小規模となります。平均年齢は80代前半です。
- ・ 夜間、電話がかかってくることがありますか？（福祉委員さま）
（看多機）看護師は看多機と兼務になるため、緊急電話は訪問看護の方にかかってきます。
- ・ 総務省の第5世代の普及に伴い、携帯電話を通じて利用者さまの体調管理ができ、病院とも直結しているとの事ですが、そういった取り組みはされていますか？（福祉委員さま）
（高齢者福祉課さま）都会では自宅に訪問しなくても遠隔操作で利用者さまの体調管理をしているところもあります。しかし、そうするとWi-Fi環境も必要で、まだまだ島根では難しい取り組みだと思います。

2. 小規模多機能センター及びグループホーム、看護小規模多機能センター出雲活動報告

〈小規模出雲〉

連日の猛暑による利用者さまの体調管理には十分注意しながら、こまめな水分摂取の声かけや、湿度、室温の調整を行っております。そして、利用者さまのケアを安全に行うためにもスタッフの健康管理にも気をつけております。施設の中では、利用者さまと一緒に壁面づくりや体を使ったゲームなどを行い過ごされています。7月には「ジメジメを吹き飛ばせ！みんなで楽しくスポーツ大会」と題してミニスポーツ大会を行いました。立派な選手宣誓から始まり、5種目の競技に参加され笑いと歓声に沸きました。「いやー楽しかったわー」「久しぶりに大笑いしたわ～」と気持ちのよいお疲れモードに浸っておられました。大社消防署と地域消防団の皆さまと合同で「火災」を想定した避難訓練を行いました。小規模内の状況や避難経路を確認していただきながら訓練を行うことで、災害時に備えた貴重な機会となりました。

《グループホーム》

利用者さんと職員で夏野菜の苗植えを行いました。みなさん土に触れている時はとても真剣な様子で取り組んでいました。毎朝、大きく育てねと水やりを行いました。

6月28日はご家族様をお呼びしての笹巻作り会を行いました。笹巻作りを通じて家族様から「母と一緒によく笹巻作りましたよ」とお話ししてくれたり、巻き方がわからない職員にご家族様が教えてくださったりと、職員も交流を楽しむことができました。

〈看護小規模出雲〉

7月から新たに2名の方をお迎えし、にぎやかに過ごしていただいています。猛暑の中、皆さんの体調管理を第一に考えて訪問や送迎を行っています。エアコンを使って自宅の環境が整うよう、日々スタッフも気を配り、熱中症予防に努めています。プランターの夏野菜がよく育ち、水遣りや収穫と一緒にして、昼食にミニトマトなどを味わってもらうことができました。涼しい室内で過ごす中でも、日に2回の軽い体操を実施した後、レクリエーションや手作業に集中して向かっておられます。カレンダー作成の貼り絵や新聞やチラシの再利用したゴミ箱作りは、真剣な表情の中にも笑いや話が盛り上がり楽しいひと時です。また、火災想定避難訓練も初めての取り組みでしたが、地域の消防団の方の協力を得て有意義な訓練となりました。

(小規模出雲・看護小規模・グループホーム出雲の活動報告についてのご意見など)

・【グループホームの活動について】

- ・ 2年ぶりの家族会は、とても喜ばれたと思います。企画をされる側は大変だと思いますが、ぜひ、このような交流の機会を続けていってください。(あんしん支援センターさま)

・【小規模出雲の活動について】

- ・ 他の事業所さんも、危険な暑さが続く中で熱中症予防に取り組まれています。レクリエーションでは、個別対応でドライブに出掛けたりされています(高齢者福祉課さま)

・【看護小規模出雲の活動について】

- ・ 色々な症状の方がおられるため、食事にも配慮が必要ですね。皆さんと同じメニューを提供できない方もおられると思います。看護小規模は利用者さまの体調に合わせてこまかな部分も見えていくことが必要ですね(高齢者福祉課さま)

3. 身体拘束等適正化委員会について

〔 身体的拘束等適正化委員会会議議事録参照 〕

次回開催 9 月